

ふうせんかずらの活動報告と今後の予定

2026年2月8日(日)里親体験談を開催しました。参加者は9名でした。体験談では、里親さんの実際の体験が生き生きと語られ、大変だったことや、やりがいに繋がる里子の話しなど参加者の皆様へ里親になってみませんかとメッセージが込められた熱い語りの時間でした。

ZOOM 開催プチ相談会

日にち:2026年3月21日(土)
時間:18:00~19:00
里親制度について聞きたいことを聞けます!の会を開催いたします。
<お申し込みは>
電話 042-704-8433
メール minami-satooya@chusinkai.jp
迄。小さなことでもご質問お受けいたします。是非、お申し込み下さい。
※3月19日申し込み締め切り



<問い合わせ・ご相談>
相模原市里親養育包括支援センター「ふうせんかずら」
〒252-0231相模原市中央区相模原5-1-20 南栄ビル402 電話 042-704-8433
(平日 土日祝日 午前9時~午後6時)
メール:minami-satooya@chusinkai.jp
HP:https://fusenkazura.chusinkai.net

ふうせんかずら
ホームページ



発行日:2026(令和8)年3月10日(火) 発行責任者:曾我幸央
発行:社会福祉法人 中心会 相模原南児童ホーム
〒252-0326 相模原市南区新戸905-1 TEL:046-251-5590
URL https://sagamihara-minami.chusinkai.net/
Email:sagamihara-minami@chusinkai.jp

相模原南児童ホーム通信



巣立ちに向けて

相模原南児童ホーム 所長 曾我 幸央



日ごとに暖かさが加わり、園庭のモクレンやアズミ、ヤマモモの花も咲き始めました。3月は、別れと出会いの季節です。今年度も地域の皆さまの温かいご支援に支えられ、子どもたちは健やかに成長することができました。心より感謝申し上げます。
この春、当ホームからは4名の子どもたちが、住み慣れたホームを巣立ちます。進学する2名、就職する2名、それぞれが不安と期待を胸に新しい世界へと羽ばたいていきます。
私たちは、その背中を最後まで精一杯の笑顔で見送るとともに、ホームを離れた後も、子どもたちがいつでも「故郷」として戻ってこられる場所であり続けたいと願っています。

卒園を迎える高校3年生児童の進路

もうすぐ卒園を迎える児童は、日々の生活の中で、自信と成長を少しずつ積み重ねています。今年の卒園生は、男児2名女児2名の計4名。男児2名が就職、女児2名が進学を予定しています。
進学には、オープンキャンパスへの参加を通じて、実際に感じる機会を設けたり、就職には、ハローワーク訪問や職場体験を行ない、働くことへの具体的なイメージが持てるよう、必要に応じて職員が同行し、不安の軽減や振り返りを行なっています。
同じ進路支援であっても関わり方は、一人ひとり異なります。生活の中での小さな変化を受け止め、共に考え、共に悩み、時にはぶつかり合いながら、その子なりの答えが少しずつ形になっています。
正解が一つではないからこそ、児童と向き合う日々には難しさややりがいがあり、一人ひとりのペースに寄り添い、伴走し続ける関わりが、児童の主体的な進路選択につながっていくと考えます。
(児童課 前田)



2025年度 相模原市委託事業 里親養育包括支援センター主催
ZOOM開催プチ相談会
あなたもなりませんか。
里親
対象 相模原市民
どうしたら里親になれるの? 働いていたら難しいの? 子どものための制度と言うけどどういう意味?等々疑問に感じることを解消して、私も里親になれる?と考えるもらえる機会にしましょう会です。
内容
★ 里親制度説明
★ 事前の質問への回答
★ 質問コーナー
申し込み締切は 2日前です
実施日 2026年 3月21日(土)
時間 各回18:00-19:00
お問合わせ・お申し込み
相模原市里親養育包括支援センター『ふうせんかずら』
電話:042-704-8433
メール:minami-satooya@chusinkai.jp (担当 内山)
申込み方法
QRコードまたはメール
①~④を記載の上お申し込み下さい。
①氏名 (ZOOMで使用する)
②住所 例:相模原市中央区
③ZOOMで使用するアドレス
④事前に質問を募集します。(ZOOMの中で答えます。)

ご寄付お礼 [2025年10月~12月]

株式会社セクメット 瀬戸 誠 様/金 徳信 様/豊浦 正道 様/株式会社ザ・シティ相模大野店 様/株式会社MOTTERU 様/
株式会社三景 代表取締役 角谷 豊人 様/株式会社Gen Mark Corporationサンラッキー相模原店 様/会田 吉美 様/
全駐労さがみ野支部 様/國分 君江 様/Fun5 田村 香織 様/公益社団法人24時間テレビ チャリティー委員会 様/日本YMCA
同盟 様/坂本 龍馬 様/一般社団法人りんのたね 様/全国シャンメリー協同組合 様/日本児童図書出版協会 会長 岡本 光晴 様/
日本出版販売株式会社/代表取締役社長 富樫 建 様/北郷 達也 様/日本鏡餅組 理事長 樋口 元剛 様/ほっともっと 様/
北村 慶子 様/日本財団 様/菱沼 経真 様/公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 様/株式会社FRAGRANCY 代表取締役
西村 純 様/小沢 加代子 様/株式会社カレンズ 代表取締役 木村 仁 様/日広建設株式会社 様/神奈川トヨタ自動車
株式会社 様/株式会社MEIHO 様/エヌワイプロモーション 様/鈴木 由郎 様/浦野 高志 様 由加奈 様/株式会社
SL Creations 様/アサヒビール株式会社 様/川越 美奈 様/有限会社コーダジャパン 様/笠木 様/横江 利夫 様
/甲斐 大輔 様/Ten-Qoo-Santa 様/Ten-Qoo-ゴルフコンペ 様
いつも熱いご支援、ありがとうございます。

大根堀りへ行きました



12月の寒空の中、地域の方のご厚意で子どもたちと一緒に大根堀りへ行きました。

土の感触や冷たさ、大根の葉っぱの大きさに驚いてしまう子もいましたが、土の中に隠れている大根を見つけると、大根の葉っぱを持ち力いっぱい引き抜こうとしたりする姿が見られました。なかなか自分一人では抜くことが出来ず、職員と一緒に力を合わせて大きな大根を引き抜くと、スッと抜けた瞬間、驚きながらも喜ぶ姿が見られました。自分で収穫した大根を嬉しそうに持ち上げ、友達や職員に見せてくれる姿が印象的でした。収穫後は大根の重さや感触を確かめながら、大切そうに手に持ち帰りました。

自然に触れ、五感を使いながら達成感や喜びを味わえる、貴重な経験となりました。このような機会をいただき、感謝しています。今後もこのような体験を大切にしていきたいと思います。(乳児課 砂川)



餅つきを行いました



新しい年の始まりに、子どもたちと餅つきを行いました。コロナ禍を経て、昨年度から臼と杵を使った本格的な餅つきが復活し、今年も大いに盛り上がりました。

ついた餅はきなこやあんこ、みそだれ、チョコレートなどの様々な味で楽しみました。子どもたちと一緒に考えた味付け、今年の1番の人気は「しょうゆ海苔(磯辺焼き風)」でした。私も子どもたちに負けないくらい沢山食べました。

もち米を蒸す、もち米をつく、ついた餅を成型する…と餅つきの工程を言葉で聞くと簡単そうに聞こえますが、実際に行くと想像よりもはるかに大変でした。子どもたちが「わたしも手伝うよ。」と自然と集まってきて、会場の準備やもち米の用意、片付け等を手伝ってくれました。職員と子ども力が合わさり、会場にはたくさんの笑顔が溢れていて、終えた後は大きな達成感に包まれました。

私は、私自身が子どもの頃に経験し触れてきた季節行事を大切に思っています。「古臭い」「言い伝えなんか」と思うものはあるかもしれませんが、自分が経験したものをこれからも大切にして、子どもたちに同じように伝えていきたいと思えます。そして一つの経験として、少しでも思い出として心に残ってもらえたらいいなと感じています。(児童課 二瓶)



節分に豆まきをしました



「節分」とは毎年2月3日ごろに行われる行事で、「1年間健康に過ごせるように」という願いを込めて「悪いもの」を追い出す行事とされています。

今年の蕾っこたちは、幼稚園、小学校で練習してきたようで、「鬼をやっつけるんだ」と皆朝から張り切っていました。夕食後のんびりテレビを見ていた時にその時はやってきました。ベランダから玄関から3人の鬼たちが現れて、子どもたちはビックリ仰天。逃げ惑う子ども、部屋に隠れてしまった子、鬼に負けずに豆を投げつける子、ユニットは大騒ぎになりました。豆をいっぱい投げたので、「悪いもの」は追い出せました。

その後、鬼3人組は歩ユニットへ。女の子たちは「まめどうぞ」と優しく手渡ししてくれたので、鬼たちも「ありがとう」と優しい静かな鬼たちに変身してしまいました。

3人の鬼さんたち、今年も楽しませていただき、ありがとうございました。(児童課 鳥井)



児童課クリスマス会

今年もクリスマスの時期がやってきました。子どもたちは毎年この時期を楽しみにしています。サンタさんからのプレゼントや寄付で絵本をもらったり、ケーキを食べたり。いろんなサプライズがたくさんで、子どもたちもとても嬉しそうにしていました。

幼児ユニットでは、もらったプレゼントを嬉しそうに開けて、みんなで仲良く遊んでいる姿がありました。それぞれ、もらったプレゼントは種類がさまざまで、目新しいものもたくさんでした。新しいものに興味津々な子どもたちは、今ももらったプレゼントを大切に、遊んでいます。(児童課 高橋)



乳児課クリスマス会



今年も恒例の乳児課クリスマス会が行われました。まず初めにサンタさんとトナカイさんが子どもたちにお祝いされたプレゼントを持ってやって来てくれました。

サンタさんの姿を見て大人の後ろに隠れたり、号泣する子どもたち。本来なら歓迎されるサンタさんも気の毒です…大号泣しながらもプレゼントを受け取り、サンタさんと一緒に記念写真を撮る一人ひとり撮りました。また夕食時には両ユニット合同でクリスマスパーティーを行いました。子どもたちの好きなごちそうがテーブルに沢山並び、みんな大興奮でお腹いっぱい食べました。

食後はクリスマスにちなんだパネルシアターを見てとても楽しいクリスマスになりました。(乳児課 中島)

職員紹介



昨年12月に児童課職員として採用されました、岩本俊一といいます。年齢は49歳です。

18歳から約30年間、警察官として勤務しておりましたが、30年を機に一念発起して転職しました。

2人の娘がおり、子育て(主に妻の手伝いですが…)の経験はありますが、未経験の仕事内容に「日々勉強」と思って勤務しています。

子どもたちの成長を見守りながら、自分自身も成長できるように頑張ります。(児童課 岩本)



今年の1月から心理療法担当職員として勤務している山岡京子です。これまで医療機関や教育機関、公的機関に勤め、子どもの育ちを保護者や関係者と支える仕事をしてきました。「心理療法担当」と聞くと特別な何かと思われがちですが、入所している子ども達が安心して毎日積み重ねられるよう、子どもや職員、関係者の方々のお話を聞きながら、一緒に悩み、考えていけたらと思っています。日々の守られた生活を通して、子どもたちの成長を支えていく職員になれるよう、職場の伝統や積み重ねを学びながら、貢献していけたらと思っています。

まだまだ慣れない日々を送っておりますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。(心理療法担当 山岡)